

「存在を肯定する」という 作業療法の視点



講師紹介

田島明子

作業療法士
(博士 (学術))



東京都立医療技術短期大学作業療学科を卒業後、東京都心身障害者福祉センターや東京都板橋ナーシングホームに勤務する。

その傍ら社会人大学生・大学院生として東洋大学社会学部2部、東洋大学大学院社会学研究科福祉社会システム専攻修士課程を修了。その後、立命館大学大学院先端総合学術研究科を修了（博士（学術））。吉備国際大学や聖隷クリストファー大学、湘南医療大学にて教員・研究者として勤務、現在は福島県いわき市にある医療創生大学に勤務する。

単著に『障害受容再考』『日本における作業療法の現代史』、編著書として『「存在を肯定する」作業療法のまなざし』『障害受容からの自由』『「当事者」と作業療法』がある。

趣味はピアノを弾くことだが、20代に弾きづらさが生じ、最近になり、局所性ジストニアであることがわかる。局所性ジストニアリハビリ中。

【研修keyword】

作業療法の現代史、人権、権利擁護、障害学